

民間企業・団体等による教育活動について

実社会での経験や専門知識、先端的な技術等を生かした教育活動は、「社会に開かれた教育課程」を地域・社会と連携しながら実現するためにも非常に有効です。新たな時代に向けて、地域、社会や世界の変化に対応し、必要な情報を活用して新たな価値を創造していくためには、民間企業・団体等の多様な外部人材を活用して、子供たちの学びを充実していくことが重要となります。

これらを踏まえ、文部科学省においては地域学校協働活動の一つとして、子供たちの土曜日をはじめとした休日、放課後等における教育活動を充実するため、民間企業・団体等を中心として多様な経験や技能を持つ外部人材の協力により、特色・魅力のある教育プログラムを実施する自治体や学校の取組を支援しております。さらに、このような取組を推進するため、文部科学省では、平成26年より、多様な企業・団体・大学等に、土曜日、夏休み、冬休み、平日の授業や放課後等の教育活動の出前授業の講師や施設見学の受入れ等を実施していただく活動である「土曜学習応援団」を推進しており、平成28年12月段階で700以上の民間企業・団体等に御賛同いただき活動いただいております。

土曜学習応援団は、幼稚園から高校までの幅広い幼児、児童及び生徒を対象に、教科と関連した出前授業はもちろんのこと、ICTを活用したプログラミング講座や、伝統文化を学ぶ体験プログラム、環境や防災に関する知識を深める学習、国際理解を深める講座等、それぞれの民間企業・団体等の実社会での経験や強みを生かした出前授業等を実施しております。

文部科学省が実施した土曜学習応援団の民間企業・団体等を対象としたアンケート調査(本誌7頁～8頁参照)では、民間企業・団体等のプログラムによる回答として「学校の授業では体験できないことを学べた」(83%)、「体験した学習プログラムに関する分野について興味・関心が高まった」(65%)といった回答が得られる等、土曜学習応援団へ御賛同いただいた民間企業・団体等の方々には、子供たちの視野を広げたり、更に深い学びへのきっかけとなる学習プログラムを御提供いただいております。

文部科学省では、教育委員会や学校関係者の方々から、土曜学習応援団の学習プログラムを依頼できる仕組みとして、それぞれの地域で実施できる教科・学習テーマ、対象学年、開催可能日等を検索できる**土曜学習応援団に関するWEBサイト**(URL: <http://doyo2.mext.go.jp>)を平成28年2月に立ち上げました。

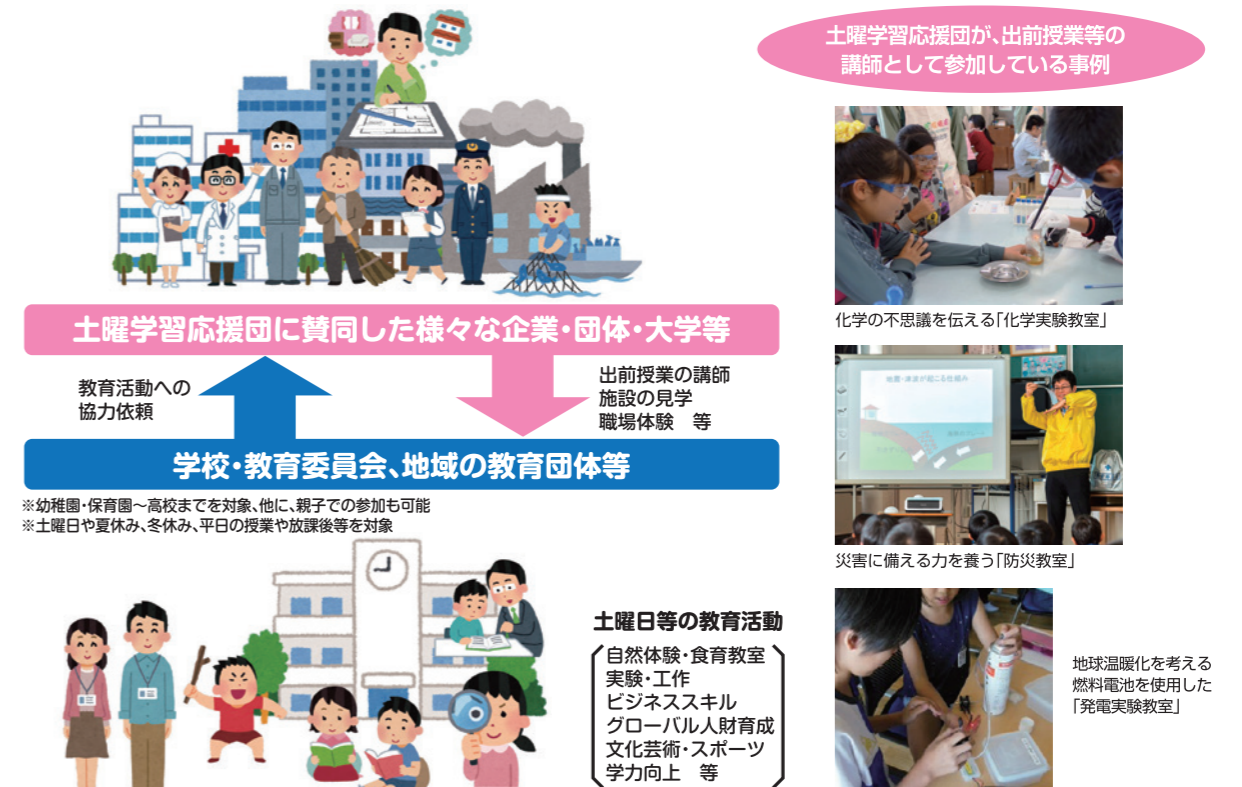
WEBサイトの中で、条件にあう学習プログラムがあれば、掲載されている学習プログラムの一冊下に記載している民間企業・団体等の連絡先に直接御連絡していただき、実施条件等を相談の上、実施していただける仕組みになっています。土曜学習応援団に関して、御不明な点がございましたら、文部科学省の担当まで御連絡下さい。

TEL:03-6734-3080 FAX:03-6734-3718 e-mail:doyo@mext.go.jp

土曜学習応援団について

～民間企業・団体等による特色・魅力ある教育活動を推進～

文部科学省では、平成26年4月より子供の豊かな学びを支えるために、多様な民間企業・団体・大学等に「土曜学習応援団」に御賛同(御参画)いただき、土曜日、夏休み、冬休み、平日の授業や放課後等の教育活動に出前授業の講師や施設見学の受入れ等により参加していただくことで特色・魅力のある教育活動を推進。(平成28年12月段階で715民間企業・団体が賛同)



土曜学習応援団に関するWEBサイト <http://doyo2.mext.go.jp>

賛同企業等の一覧や取組を紹介しています

お住まいの地域や学習テーマ、民間企業・団体等の業種などからワンクリックで連携可能な民間企業・団体の情報や、実施可能な学習プログラムに関する情報にアクセスできます！(情報は随時追加します)その他、民間企業・団体等における教育活動に関する最新情報を掲載しています。

業種・実施エリア(都道府県)で検索できます。

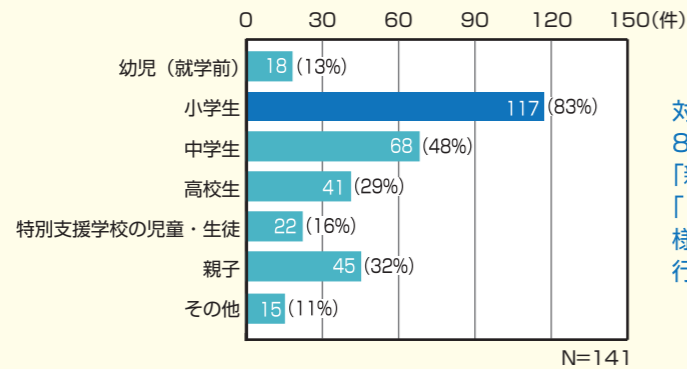
教科・学習テーマ・実施エリア(都道府県)・対象・学年・開催可能日・開催場所・業種で検索できます。

教科から探す	学習テーマから探す	実施エリアから探す	対象学年から探す	開催可能曜日から探す	開催場所から探す	業種から探す
小学校国語(50)	著作権(1)	施設体験・見学(17)	幼稚園・保育園(40)	平日(218)	See more...	農業・林業・漁業・鉱業(7)
小学校社会(90)	環境教育(42)	教材の提供(16)	小学校1年生(180)	土曜日(212)		建設(4)
小学校算数(6)	食育(82)	全国(118)	小学校2年生(187)	日曜日(177)		食品・飲料(110)
小学校理科(90)	地域理解(40)	北海道(127)	小学校3年生(180)	春休み(240)		電気・ガス・水道(6)
小学校生活(41)	福祉・医療・介護(14)	青森県(116)	小学校4年生(180)	夏休み(212)		出版・印刷(5)
小学校図画工作(10)	情報教育(18)	岩手県(116)	小学校5年生(210)	冬休み(200)		情報通信・映像・音声(1)
小学校家庭(40)	野外体験(16)	宮城県(180)	小学校6年生(210)			

「土曜学習応援団」へのアンケート結果

文部科学省が、平成28年度に実施した土曜学習応援団のアンケート結果の一部をご紹介します。
調査方法: WEB調査 / 調査期間: 平成28年10月17日～11月9日 / 調査対象等: 土曜学習応援団賛同の702民間企業・団体

1. 誰を対象に学習プログラムを実施しましたか

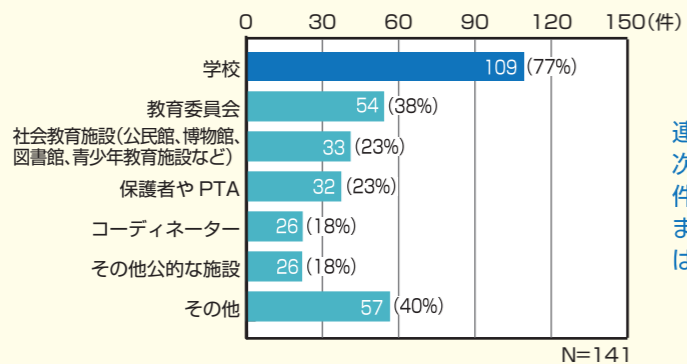


対象は、「小学生」が141件中117件、83%と最も高く、次いで「中学生」、「親子」の順となっている。「その他の具体的な回答例」からは様々な対象者に対してプログラムが行われていることがうかがえる。

【その他の具体的な回答例】

教職員(7) / 大学生・専門学校生(2) / 高等専門学校の生徒 / 長期入院の児童・生徒(院内学級) / 児童養護施設の子供たち / 幼稚園・保育園の教職員 / 幼児の保護者 / 各種団体(ガールスカウト、ボーイスカウト、児童会等)の代表等 / 地域の指導者 / 障がい者の就労施設に勤務されている成人の方々

2. どこと連携して学習プログラムを実施しましたか

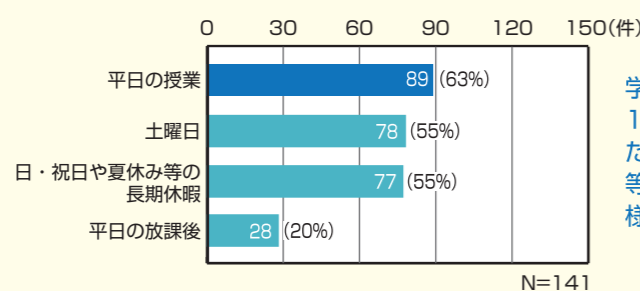


連携先では「学校」はもちろんだが、次いで「教育委員会」が141件中54件、4割弱となっている。また、「その他の具体的な回答例」には多様な連携先が見られる。

【その他の具体的な回答例】

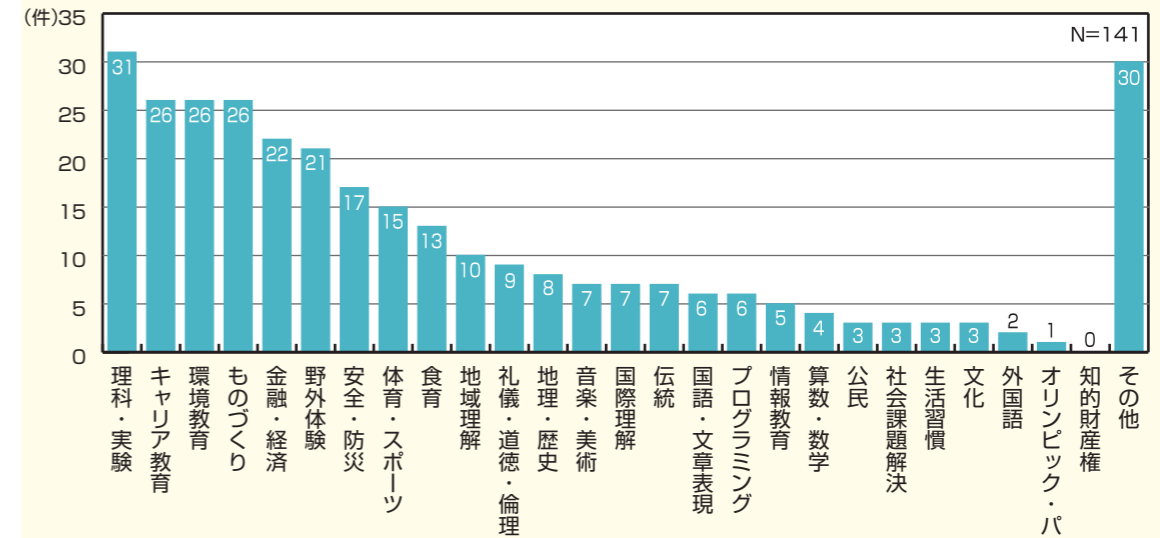
企業(6) / NPO団体(2) / 大学、大学サークルの学生(2) / 財務省、地方財務局 / 市町村 / 地域の高齢者施設 / 知的障害者等の就労支援施設 / 警察 / 社会福祉団体 / 病院 / 放課後子供教室 / 幼稚園、保育園

3. どのような機会に学習プログラムを実施しましたか



学習機会としては、「平日の授業」が141件中89件、63%と最も高かった。次いで「土曜日」「日・祝日や夏休み等の長期休暇」はいずれも55%と、様々な機会での活動が実施されている。

4. 実施した学習プログラムのテーマは何ですか

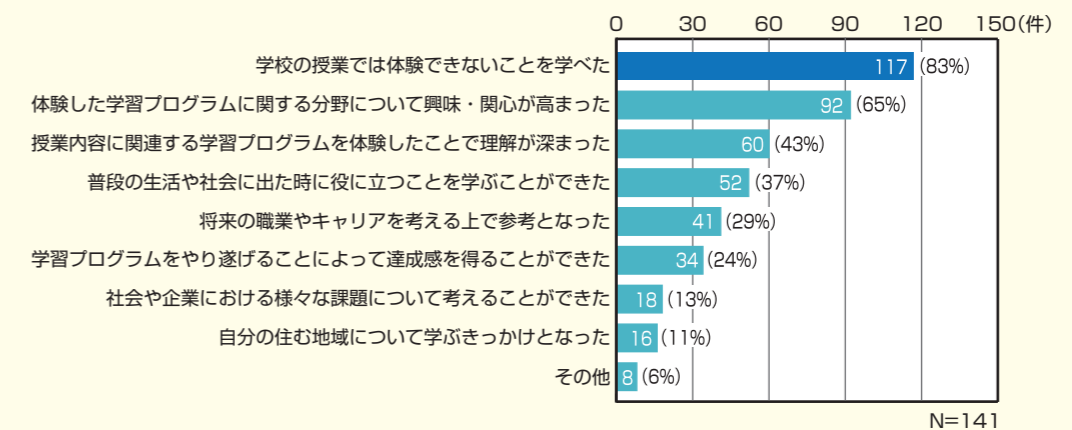


学習プログラムのテーマについては、「理科・実験」が最も多く、以下「キャリア教育」、「環境教育」、「ものづくり」と続く。「その他の具体的な回答例」をみると、民間企業・団体等の特性を生かした、多様でオリジナリティの高い学習内容がうかがえる。

【その他の具体的な回答例】

・人間関係づくり、コミュニケーション、自己理解・他者理解
・平和学習
・消費者教育
・起業家教育
・スマートフォンや携帯電話の利用に関連した安全教室
・新聞の読み方、作り方
・財政教育(主権者教育の一環)
・ユニバーサルデザイン
・気象知識の普及、気象防災の啓発

5. 活動実施後に参加者からどんな声がありましたか



参加者からの声では、「学校の授業では体験できないことを学べた」が141件中117件、83%と最も多く、学校だけでは実現しにくい深い学びや社会とのつながりに対する気付きなどへの評価が高い。

【その他の具体的な回答例】

・地球環境やエネルギー資源の大切さを考えるきっかけとなった
・親子で参加できてよかった
・夢が明確になり、夢を叶えるために努力しようと思った
・掃除の大切さがわかった
・情報収集手段、情報活用について理解を深めることができた
・普段、できないことができるのがとにかく楽しい